

ミスミグループ本社 2024年3月期 連結業績

～下期から緩やかな回復基調が見られたものの、
通期ではグローバルな設備投資需要低迷影響を受け前年比減収～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2024年3月期(2023年4月1日～2024年3月31日)の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

(百万円)	2023年3月期	2024年3月期	増減率
売上高	373,151	367,649	▲1.5%
営業利益	46,615	38,365	▲17.7%
純利益	34,282	28,152	▲17.9%
1株当たり純利益	120.53円	99.75円	

1. 2024年3月期の連結業績ハイライト

- 当連結会計年度における世界経済は、製造業を中心にグローバルで設備投資需要が低迷し、厳しい状況が続きました。中国においては、不透明な経済状況により需要が総じて低調に推移し、日本やアジアも一部の地域を除いて、需要低迷が継続しましたが、期末にかけて緩やかな回復基調が見られました。一方、欧米では、地政学リスクなど景気後退の影響を受け、下期より減速感が現れました。
- こうした環境において、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしています。これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の確実短納期ニーズに応えることで世界の製造業を中心とした自動化関連産業に貢献しています。これまで当社が築いてきたIT、生産、物流の強固な事業基盤やグローバル拠点網をさらに強化すべく、基幹システム刷新は最大拠点の日本に導入が完了しました。同時に、新商品、新サービス開発を含む新事業政策の加速を継続した一方で、グローバルで設備投資需要低迷の影響を受け、売上・利益ともに前年比減少になりました。
- この結果、連結売上高は367,649百万円、前年同期比1.5%減(現地通貨ベース4.4%減)となりました。利益面につきましては、売上数量減、事業モデル革新に向けた新基幹システム導入に関わる費用増加等の影響により、営業利益は38,365百万円(前年同期比17.7%減)、経常利益は41,265百万円(前年同期比13.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は28,152百万円(前年同期比17.9%減)となりました。

2. 金型部品は為替効果もあり増収確保、その他事業は需要低迷により減収

- 2024年3月期のセグメント別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2023年3月期	2024年3月期	円ベース	現地通貨ベース
FA事業	121,932	118,219	▲3.0%	▲5.9%
金型部品事業	79,125	79,932	+1.0%	▲3.4%
VONA事業	172,093	169,497	▲1.5%	▲3.7%
合計	373,151	367,649	▲1.5%	▲4.4%

- FA事業は、日本においては前年並みの水準を維持できましたが、中国を中心に海外地域では低調に推移しました。
- 金型部品事業は、総じて全地域で軟調だったものの、アジア・欧州を中心に自動車関連需要を獲得し、為替効果もあり増収増益となりました。
- VONA事業は、日本はほぼ前年横ばいとなりましたが、海外地域では中国とアジアが顧客工場の稼働低迷影響を受け、低調に推移しました。

3. 中国需要低迷の影響が大きく、国内外ともに総じて低調に推移

- 2024年3月期の地域別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2023年3月期	2024年3月期	円ベース	現地通貨ベース
日本	172,661	171,141	▲0.9%	—
海外	200,489	196,507	▲2.0%	▲7.4%
中国	68,900	60,853	▲11.7%	▲13.6%
アジア	56,182	57,498	+2.3%	▲3.1%
アメリカ	42,521	42,839	+0.7%	▲5.7%
欧州	24,257	26,201	+8.0%	▲2.7%
その他	8,627	9,115	+5.7%	▲6.6%

4. 年間配当金は 27.47 円の予定

- 当社グループは、社員の挑戦を起点として、顧客である IA(インダストリアル・オートメーション)産業の持続的成長へ貢献し、IA 産業の自動化、省力化による社会の持続的発展を支える成長連鎖経営を志向しております。この実現に向けて、地域・事業・新商品・新サービス開発等へ積極的な成長投資を行い、顧客時間価値向上に貢献する事業モデルの進化に取り組んでおります。また、中長期的な企業価値向上の実現に向けて、資本コストを的確に把握し、資本コストを超える資本収益性となるよう、エクイティスプレッドの拡大を目指しております。そのため、中長期的な視点での成長投資と株主の皆さまへの還元は、バランスを取りながら実施してまいります。
- 配当につきましては、従前、配当性向 25%を目安としておりましたが、経営基盤拡充、財務体質の強化、資本効率の向上なども勘案し、配当性向 30%を目安に実施するよう変更いたします。自己株式取得につきましては、手元資金、成長投資機会、株式市場の動向など状況に応じて、機動的に実施してまいります。当期の期末配当につきましては、変更した上記の基準に従い、1株当たり期末配当金は 14 円 87 銭(前年比 2 円 53 銭増)とさせていただきます。その結果、年間配当金につきましては、中間配当金 12 円 60 銭と合わせ 1 株当たり 27 円 47 銭(前年比 2 円 67 銭減)となる予定です。

	年間配当金					
	第 2 四半期末		期末		年間合計	
	円 銭	配当性向	円 銭	配当性向	円 銭	配当性向
前回予想	—	—	14.50	25.0%	27.10	25.0%
当期実績	12.60	25.0%	14.87	30.0%	27.47	27.5%
前期実績	17.80	25.0%	12.34	25.0%	30.14	25.0%

5. 連結業績予想について

- 2025 年 3 月期の連結業績予想については、下記のとおりとなります。
今後事業環境の変化により、本業績予想は変動する可能性があります。開示すべき事象が生じた際には速やかにお知らせいたします。

2025 年 3 月期 連結業績予想(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1 株当たり 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期予想	393,000	46,000	47,400	34,400	122.05
当期実績	367,649	38,365	41,265	28,152	99.75
増減率(%)	+6.9%	+19.9%	+14.9%	+22.2%	—

注)為替の前提レートは米ドル: 145.0 円、ユーロ: 157.0 円、人民元: 20.0 円です。

[業績予想に関する留意事項]

この資料に掲載されている2025年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2024年3月期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

この件に関するお問い合わせ
株式会社ミスミグループ本社
インベスター・リレーション室
Tel: 03-6777-7501 Fax: 03-5211-7502
mail: cc@misumi.co.jp